

経営比較分析表（令和6年度決算）

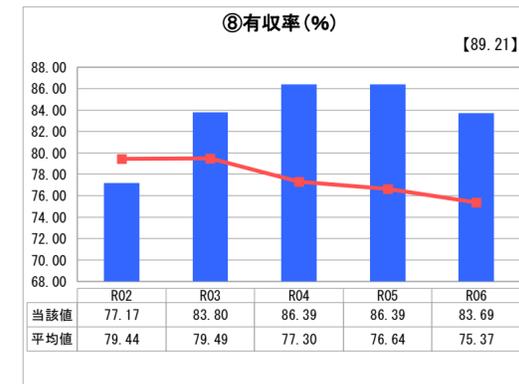
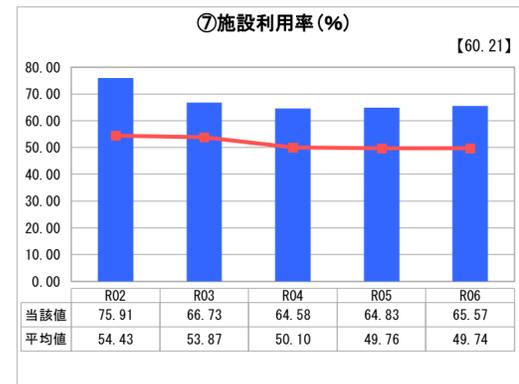
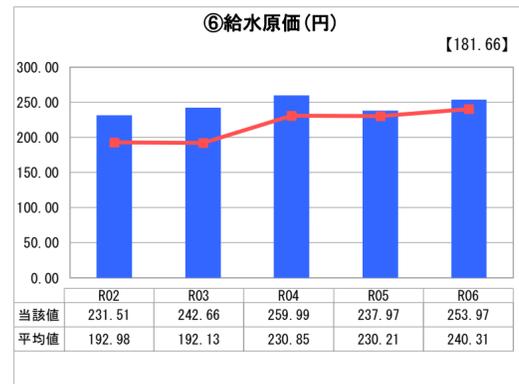
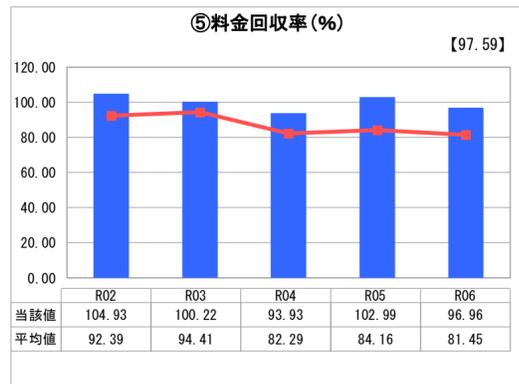
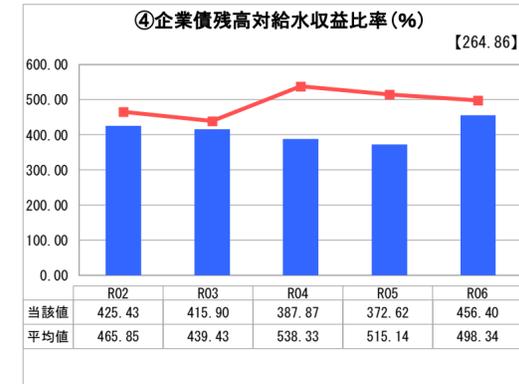
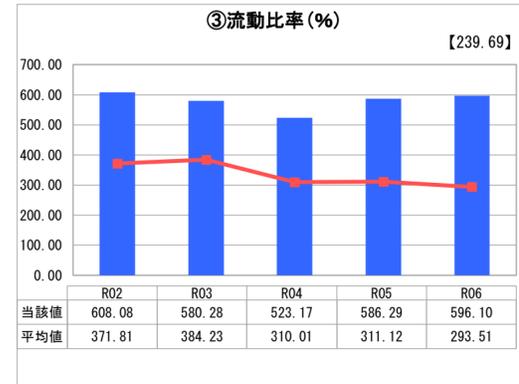
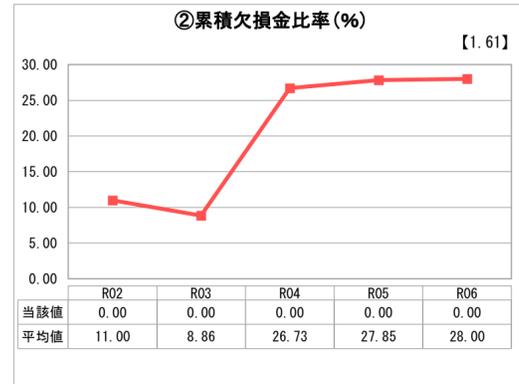
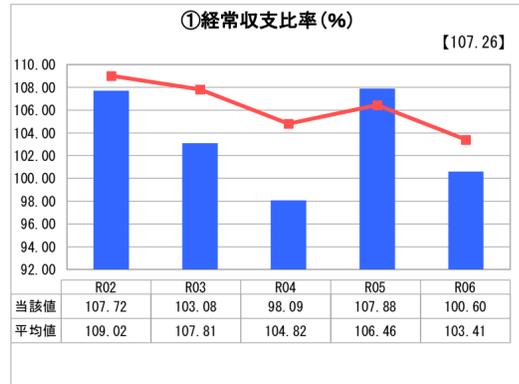
岐阜県 八百津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.39	97.01	4,466	

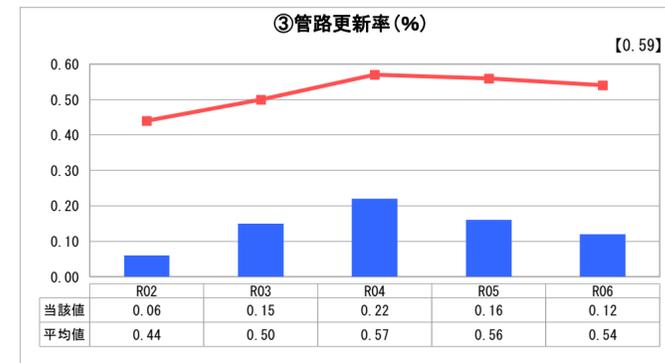
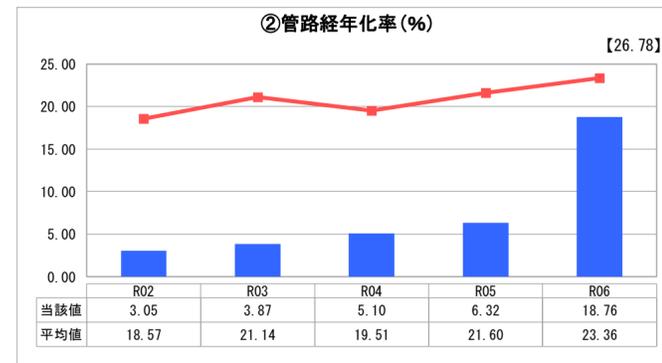
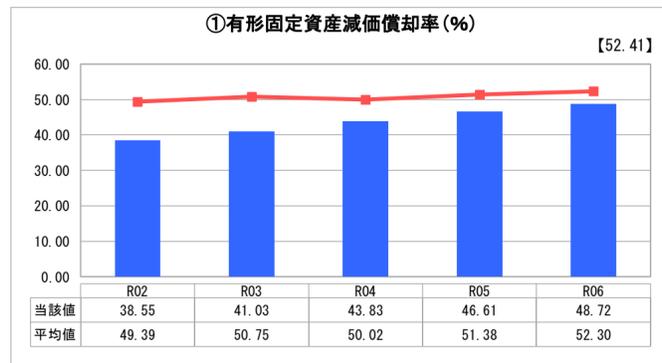
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,861	128.79	76.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,504	35.38	268.63

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について、令和4年度には、落雷による修繕費の増により厳しい状況でしたが、その後は黒字で結ぶことが出来ています。施設の老朽化に伴う修繕費の増加や、人件費や物価高騰に伴う経費の増加、給水人口の減少による収益の減少が予想されるが、更なる経費節減に努め、料金改定も視野に入れ、経営改善に努めていく。

⑤料金回収率について、定期的な滞納整理事務や給水停止事務の遂行により新たな滞納者は増やさないよう努力している。久田見浄水場の更新工事(R5～R7)を行っており、建設改良積立金を取り崩し補填している。

⑧管路の老朽化もあり、漏水が多くなっている。配水水量を細目に確認し、早期発見に努めている。より一層の経営効率化を図る。

2. 老朽化の状況について

平成9年4月の下水道の供用開始に併せ、給水管配水管の布設替工事を行ったことで、法定耐用年数を超えるものは少ないが、法定耐用年数が近づいている管が増加している。

電気、機械設備についても毎年点検を実施し、計画的な修繕を行っている。

また、アセットマネジメントにより、計画的な更新を行うための財源確保にも努めていく。

全体総括

簡易水道事業特別会計を水道事業会計に統合したため、経営指標が厳しくなっている。今後更に給水人口の減少が進み、経営状況も厳しくなることから、経営の効率化を進め、安定した経営が出来るように努めていく。

また、重要管路の耐震化等、投資計画の見直しや、料金改定についても視野に入れ、実施・検討をしていく。